

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成28年7月7日 (2016.7.7)

【公開番号】特開2015-39125(P2015-39125A)
 【公開日】平成27年2月26日 (2015.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報2015-013
 【出願番号】特願2013-169508(P2013-169508)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

G 0 8 B 13/196 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

G 0 8 B 13/196

【手続補正書】
 【提出日】平成28年5月19日 (2016.5.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動線取得条件を設定する設定手段と、
 前記動線取得条件に基づき動線を取得する取得手段と、
 動線を分析し、動線が所定の頻度で検知された領域を抽出する分析手段と、
 抽出された領域の集合を監視範囲とする設定手段を有することを特徴とする監視装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、複数のラインを設定し、前記取得手段は、前記設定手段により設定された複数のラインを通過する動線を取得することを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置

。

【請求項 3】

前記分析手段は、映像を任意の分割数に領域分割して、領域毎に動線が所定の頻度で発生しているか否かを分析することを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置。

【請求項 4】

前記分析手段は、監視対象の移動時間を動線毎に取得し、前記設定手段は、監視範囲における監視対象の平均移動時間を記録することを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置。

【請求項 5】

監視対象の特徴量を算出し、算出された特徴量を監視対象の識別情報に記録する特徴量算出手段を有し、前記設定手段は、監視範囲を特徴量と関連付けることを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置。

【請求項 6】

前記設定手段は、監視範囲が設定されている監視対象について、監視範囲に変更があった場合、監視範囲を更新することを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置。

【請求項 7】

前記設定手段は、監視範囲が設定されている監視対象について、監視範囲に変更があった場合、警報を発することを特徴とする請求項 1 に記載の監視装置。

【請求項 8】

動線取得条件を設定し、

前記動線取得条件に基づき動線を取得し、
動線进行分析し、動線が所定の頻度で検知された領域を抽出し、
抽出された領域の集合を監視範囲とすることを特徴とする監視装置の設定方法。

【請求項 9】

前記動線取得条件として複数のラインを設定し、前記設定された複数のラインを通過する動線を取得することを特徴とする請求項 8 に記載の監視装置の設定方法。

【請求項 10】

監視対象の移動時間を動線毎に取得し、監視範囲における監視対象の平均移動時間を記録することを特徴とする請求項 8 に記載の監視装置の設定方法。

【請求項 11】

監視対象の特徴量を算出し、算出された特徴量を監視対象の識別情報に記録し、監視範囲を特徴量と関連付けることを特徴とする請求項 8 に記載の監視装置の設定方法。

【請求項 12】

動線取得条件を設定する設定手順と、
前記動線取得条件に基づき動線を取得する取得手順と、
動線进行分析し、動線が所定の頻度で検知された領域を抽出する分析手順と、
抽出された領域の集合を監視範囲とする設定手順をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 13】

前記設定手順では、複数のラインを設定し、前記取得手順では、前記設定手順で設定された複数のラインを通過する動線を取得することを特徴とする請求項 12 に記載のプログラム。

【請求項 14】

前記分析手順は、監視対象の移動時間を動線毎に取得し、前記設定手順は、監視範囲における監視対象の平均移動時間を記録することを特徴とする請求項 12 に記載のプログラム。

【請求項 15】

監視対象の特徴量を算出し、算出された特徴量を監視対象の識別情報に記録する特徴量算出手順をコンピュータに実行させ、前記設定手順は、監視範囲を特徴量と関連付けることを特徴とする請求項 12 に記載のプログラム。